

「利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画(原案)」について、
関係する住民からいただいたご意見

本資料は、関係する住民からいただいたご意見です。
ただし、個人に関する情報であって特定の個人を識別
できるものについては、黒塗りしています。

国土交通省関東地方整備局

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2023年4月6日木曜日 14:05
宛先: ktr-nakaaya-plan@ki.mlit.go.jp
件名: 「利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画（原案）」意見募集 事務局宛

- ①氏名 [REDACTED]
②住所 埼玉県草加市 [REDACTED]
③電話番号 [REDACTED]
④年代 60歳以上
⑤意見 「河川環境の整備と保全に関する目標」について

G7で約した30by30達成には保護地域以外でも生物多様性に富む場所の保全は急務。

早急に県東部中川流域の調査を実施と具体的な保全方針策定に取り組んで頂きたい。

「河川環境の保全に関する事項」について

人と河川のふれあいやスポーツなど河川利用、環境学習の場の整備において、特にスポーツ

利用は避けるか自然環境への影響を低減とする対策をとるべき。

① 氏名		[REDACTED]	
② 住所		(都道府県名) 埼玉県	(市区町村名) 吉川市
③ 電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]	
④ 年代		20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	
意見該当箇所		⑥ご意見	
章	頁	(意見ごとにできるだけ200字以内で記載してください)	
5	47	27行目から29行目について、「低減に努め、必要に応じて代償措置について検討する」では、サギのコロニーの保全対策が十分取られるとは思えない。 「河川整備による影響を回避する治水対策をまず第一に検討する。検討の結果、回避できない場合は、影響を極力低減する対策を講じると同時に、代償措置を早急に講じる。」と表記すべきである。	
5	62	本年3月に野鳥保護関係者より、当該地においてサギのコロニーの繁殖妨害がされているとの情報提供が私にあった。調査したところ、サギが営巣する竹林内に、テグスを複数張る、防鳥網を張る、マネキンの頭を竹竿の先につけて設置するという非常に悪質な行為だった。河川事務所・県環境管理事務所・警察も本情報を共有しているが、「(2)自然環境の保全」の中で、野生動植物に対する違法行為の防止対策を明記してもらいたい。	

[/]

P47 27行 ～	<p>中島地区サギ集団営巣地は整備計画で改変せず現状維持すべきです。やむを得ず代償措置を行うときは、成功事例を参考に、時間をかけてモニタリングなどを実施し、サギが確実に代替地に定着できることを確認した後、計画・着工して下さい。埼玉県のスギの最大繁殖地を絶対に失わないでください。</p> <p>また、人による繁殖妨害等の不法行為防止のため水道橋に CCTV カメラなどを設置し、監視して下さい。</p>
P48 4行 ～9行	<p>中川・綾瀬川における自然環境整備と保全について流域自然環境資質向上のために作る生態系ネットワーク形成の際には地域住民（中川・綾瀬川は周辺住民だけのものではない）を周辺住民ととせず、利用する市民・専門家を含めたものにしてください。</p>
P48 32行	<p>まつばら綾瀬川公園親水ラグーン。国土交通省ではこのような川辺の凹みをラグーンというのでしょうか。ある外人の方を綾瀬川に案内したときラグーンがここだと言ったらびっくりしていました。ここはゴロタ石が置いてある川の凹みで、特に多くの魚がいる場所でも貴重な場所でもありません。この親水ラグーンの名称は外してください。</p> <p>注；荒川上流河川事務所基礎用語集にはもともとはサンゴ礁に見られる地形を指す用語（サンゴ礁と陸の間や環礁の中央部に発達する深い水域）であるが、池状の施設や水路状の施設を表す用語として用いられている。</p>
	<p>このような地域の治水や環境の将来を決める河川整備計画（原案）は、専門家や関係者以外の一般市民が簡単に見ることができる方法にして下さい。</p>

「利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画（原案）に対する意見

① 氏 名		■■■■■■■■■■
② 住 所		(都道府県名) 埼玉県
		(市町村名) 草加市■■■■■■■■■■
③電話番号又はメールアドレス		■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
③ 年 代		20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上
意見該当箇所		⑤ご意見
頁	章	(意見ごとにできるだけ200字以内で記載してください)
P43	5- (2)	河道掘削等掘削にあたっては…… 八潮フラワーパーク対岸のヨシ原の中には国絶滅危惧由キタミソウが散在していることから、キタミソウ自生地掘削はやらないでください。

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2023年4月10日月曜日 16:33
宛先: ktr-nakaaya-plan@ki.mlit.go.jp
件名: 「利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画（原案）」意見募集事務局御中

【氏名】 [REDACTED]

【住所】 千葉県八千代市

【電話】 [REDACTED]

【メールアドレス】 [REDACTED]

【年代】 60歳以上

【意見1】

[P38L9～24] [P39 図 4-1] 整備計画により達成する治水安全度（年超過確率）を明記すべきである。整備方針では目標治水安全度を 1/100（吉川毎秒 1100 立米）としているが、整備計画（吉川毎秒 640 立米、狩野川台風規模）には目標治水安全度が表記されていない。同じ狩野川台風規模でありながら、中川総体計画では 1/50、第 4 回有識者会議資料では 1/24 となっており、整備計画の目標が明確にならない。

【意見2】

[P39 図 4-1] [P44L11～L18] 新規放水路が加わることにより放水総流量が江戸川へ与える影響に関する現時点における考察を詳述すべきである。中川水系から江戸川への放水路を追加検討するとある。既存放水路の計画流量は毎秒 450 立米であり、追加により毎秒 550 立米となる。江戸川の計画流量の 11%に当たる流量である。原案には「調査及び検討を行い、調整の上、必要な整備を行う。」「排水先の河川整備の状況を勘案しつつ適切に実施する」とあるのみで、計画の検討段階における論考が記述されておらず、整備計画における設定理由も表記されていない。

以上」

「利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画（原案）」に対する意見

① 氏名	[REDACTED]	
② 住所	(都道府県名) 埼玉県	(市区町村名) 越谷市
③電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]	
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代 <u>60歳以上</u>	
意見該当箇所	⑤ご意見	
章	頁	(意見ごとにできるだけ200字以内で記載してください)
5.2.3	62	<p>水田、畑地など)の貯留機能も入れるべきではないか。ここに入れることが適当で無ければ、他の箇所(6.1章など)に入れるべきと思います。</p> <p>20～21行、「河川水辺の国勢調査」の実施個所を増加させたり、範囲を広げて更なる情報収集を行い、計画策定に反映すべきと考えます。予算的な問題がある場合には他から得た環境情報を加味し、貴重種などがいる範囲を国の調査範囲にくわえる必要があると思います。</p>